



平成26年4月19日(土)
熊本大学・九州連合同窓会
於:ホテル日航

歴史に学び未来社会を志向した教育・研究
=100年後も輝く憧れの熊本大学に向けて=



熊本大学長
谷口 功



1) 学モン都市:熊本

歴史を振り返る

そして、現在(この先)(大きな変化の時代)

2) 熊本大学の教育・研究

a) 国際社会で活躍できる人「財」の育成

b) 先端的な研究の例

3) 大学を取り巻く状況と本学の将来に向けて

Kumamoto University

著名教授陣



嘉納 治五郎
講道館柔術を創始。
第三代第五高等学校
校長。
在任: 1891/8~1893/1



ラフカディオ・ハーン
小泉八雲として知られる
英国人。英語とラテン語
の教師。
在任: 1891-1894

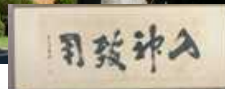


夏目 漱石
明治29年五高教授。
「草枕」等を執筆。
在任: 1896-1900



1887年(明治20年)設置
本科/予科

多くの偉人が集った。伝統の赤煉瓦。



入神致用(勝海舟)

市民の熱意と協力のできた
著名な卒業生

熊本から
多くの人材を輩出

大正9年(1920)まで9月入学



剛毅木訥/質実剛健

寺田 寅彦
物理学者・随筆家。五高
で漱石に師事。東大教授。
独特の写生文や科学随筆
で知られる。

夏目漱石:三四郎

「学年は、9月11日に始まった。――」



佐藤 栄作
政治家・首相。昭和47年
沖縄返還を実現。
ノーベル平和賞を受賞。

国指定重要文化財

熊本大学の歴史的な建造物(文化財)

活用される文化財:
Ex. 坂の上の雲



工学部研究資料館
機械遺産に認定済



五高記念館

化学実験場:
日本化学会
「化学遺産」認定

文化庁の
「活用保存文化財」指定

化学実験場
(1889年:明治22年竣工)



現存の最古のドラフト



学長特別講義

H26年度: 新入生1859人を
18回に分けて実施

化学遺産認定書



赤門

寺田寅彦が学んだ階段教室

化学の実験場として使用された
旧制第五高等学校階段教室
幾多の俊才がここで学んでいた

地球物理学や結晶学を専攻して先駆的研究を行った物理学者
寺田寅彦もそのひとり
彼はまた、夏目漱石に英語と非文学を学び
科学と文学を賞和させた名詞学を残している

名作「我輩は猫である」のひょう人物木島武吉のモデルとされている
「天災は忘れたころにやってくる」の名言も彼の言葉とされる

「文理両道」を実践した寺田寅彦の建築
その後の深い知性、真実で培われ続けた



4

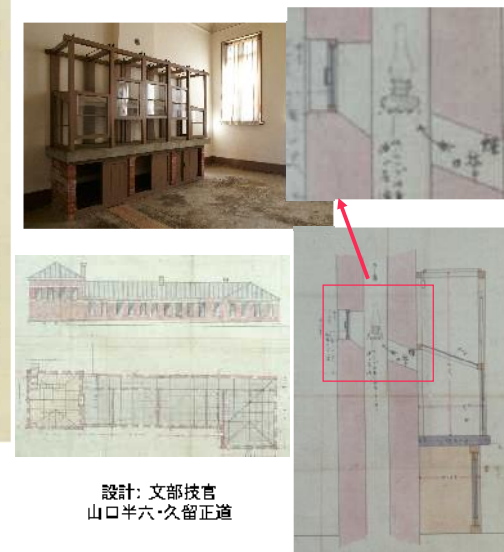
寺田寅彦
物理学
結晶解析学
夏目漱石
から
英語
俳文学を
学んだ
「天災は
忘れたころに
やってくる」
文理両道
(リベラルアーツ)

化学実験場

5



旧第五高等学校時代の
化学の授業



設計: 文部技官
山口半六・久留正道

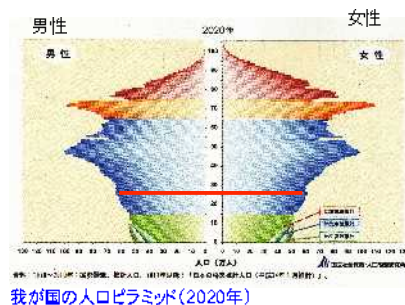
第二次世界大戦後の経済発展

6

ゼロからの出発:

自由で発展した世界／先進国(特にアメリカ)をモデルに発展
==>経済大国に／世界の奇跡(Miracle Japan)
世界一の発展(Japan as number one)

教育の均等化／拡大;大量の質の高い均質な人材育成



我が国の発展を
支えた世代

==>
人口構成から
次の時代を
考える必要

今: 第三の大きな変化 (新しいグローバル時代へ)

7

アジア諸国の発展／ICT革命 (情報が瞬時に世界に、世界から)
グローバル化の急速な進展
==>アジア、そして発展途上諸国の発展

進行する我が国の課題 (何が起きているのか):

- 1) 労働人口の減少
- 2) 一人当たりGDPの順位の下
- 3) 世界との断絶 (海外留学生の減少) など

価値の転換が起こっている

明治維新／第二次世界大戦後／現在から近未来へ
吸収型 ==> 普及型 ==> 創造型へ

熊本大学

在学生、卒業生、職員、市民の皆様が、
跨れる大学であり、社会の信頼の存在として
地域に根ざして
グローバルに展開する未来志向の研究拠点大学



8

再春館（医学校）（1756）

第五高等学校（1887）

再春館から258年余、五高から127年の
歴史と伝統を誇る熊本大学

新制熊本大学（1949） ==> 研究大学認定(2013)

60年史編纂事業: 写真集; 部局史; 通史 発刊済み

第五高等学校、熊本医科大学、
熊本薬学専門学校、
熊本師範学校、熊本青年師範学校、
熊本工業専門学校などを統合

4 キャンパス; 7 学部
8 大学院, 18 研究所・研究センター

学生数: 10,126 (含 大学院学生: 2,126);

教員: 1,008

職員: 1,544 (附属病院を含む) (2013.5現在)

留学生 ~500 (約50カ国から)

卒業生: >120,000

学長の4つの約束

1 教育力の強化:
国際社会で活躍できる
社会の「人財」の育成

2 研究力のアップ
人や社会を幸せにできる研究

3 社会貢献の推進
学生が輝くまち、くまもと

4 国際化の推進
国際交流を強化

教育改革が必要(中教審答申)

9

問われる大学教育の質の転換 =学習から学修へ=

変化の激しい時代: =>生涯学び続ける/主体的に(自分で)考える

大学教育: =>どのような状況の中でも最善の解を導く知性を鍛え/
課題の発見や解決への基礎を身につける

==> 将来、学生がグローバル社会で生きていく力を身につけさせる

教養教育: 質の高いリベラルアーツ/グローバル人材/リーダー人材の素養

専門教育: 基礎力/応用力/チーム力/問題設定能力/目的意識

スキル教育: 種々の手段を使いこなす

情報発進力: 学修/語学力/表現力/議論力/発信力

(コミュニケーション力) など

外国語(英語)教育の強化(新入生全員にTOEIC試験: 自己診断と語学力アップ)

==> 図書館は学習から学修の場へ

==> 実社会と繋がりを意識した教育で、社会や世界に通用する人「財」育成
(==> 大学としての責任を果たすことが求められている)

1) 学モン都市:熊本

歴史を振り返る

そして、現在(この先)(大きな変化の時代)

2) 熊本大学の教育・研究

a) 国際社会で活躍できる人「財」の育成

b) 先端的な研究の例

3) 大学を取り巻く状況と本学の将来に向けて

大学改革実行プラン(国立大学への大きな期待)

10

背景: 大学の役割が問われている

==> 社会の変革のエンジンとなる大学としての期待

ミッション再定義: 各国立大学の存在意義の明確化

・各部局の特長の明確化 => 強みの強化 しかし、一方で、

・大学としての特長の強化 => 全学的な視点からの強化

方向性: 大学の機能の強化と

再構築(国立大学の存在意義を再考)

迅速で、実感できる(目に見える)取り組みが求められている

改革加速期間: 平成25、26、27年度

国立大学各部局の存在基盤となる役割を明確に

==> 大学の将来ビジョンが求められている

特に問われていること: 教育のグローバル化/

入試の在り方を含めた教育の質

教育の質の転換=学習から学修へ=

11

図書館 動/静/蓄の空間

質の高いレベルアーツと専門教育
能動的な学修: Active learning



学生諸君の活躍: 学生を元気にする!! 部活動の振興 12

- 硬式野球部 (東大・野球部との対戦を企画:
人吉・川上哲治記念球場 7-2で快勝)
- 陸上部(熊本城マラソン: 平野君 2 位 (一位: 川内氏)
==> 同窓会からの支援+学長支援
- 漕艇部(成年女子スカル: 第68回国体で優勝:
==> ボート一艘 (命名: Spica-V)
- ダイビング部(全国優勝) ==> 天覧用海中写真撮影支援
- チアリーディング部(国公立大の部で全国優勝)
==> 入学式等で歓迎演舞

等多数

教育研究施設

- 天草合津マリンステーション (全国教育関係共同利用拠点)
建屋全面改修 ==> 新調査船建造
- 国際先端医学研究拠点施設 / 国際革新技術研究拠点施設 建設
- 附属学校・園等の改築・改装

等多数

国際化(グローバル化)時代・社会

国際化することは、我が国の良さを際立たせること!

13

これからの我が国: 世界が憧れる国 / 国際社会で存在感のある国!
==> 国際社会と連携して活躍できる(社会変革を担う)人「財」が必要

(経済的な視点: 世界の発展を支える)

==> 国際的に存在感のある地域 / 国を目指す(世界の一流レベル)
==> 発展するアジア等を視野に / 先進諸国においても存在感

(文化的・社会的・人間的にも世界の一流国に)

==> 若者(将来の日本を担う者)の国際化が必至
日本人を元気に / 留学生の教育(世界貢献・我が国の安全保障)
==> 人を通して、世界と繋がったそれぞれの地域の実現が必要

世界と繋がる: ==> 様々な知識(文化)・技術が流入
==> 新しい成長の源泉



14

留学生受入の目標 / 交流協定校数の推移

【留学生数の目標】

- ◆ 第二期中期前半で500名突破
- ◆ 将来的に1,000名へ

国際連携

国際産学連携

サテライトオフィスの設置

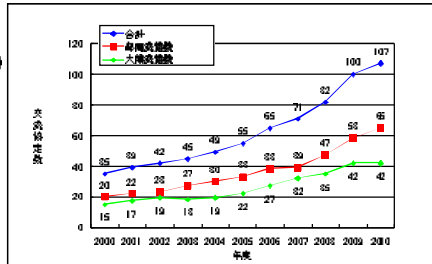
熊本大学—中国・山东大学(2010年3月)

熊本大学・海外オフィス

上海(中国)/大田(韓国)に加えて、
 済南(山东大学)/大連(大連理工大)/
 スラバヤ(インドネシア)等

=> 上海共同オフィスの実現
 (2012: 県、市と共に)

(参考) 協定校数の推移



現在(2014年4月):

30カ国; >150 機関と連携

我が国の将来のためにも極めて有効
 (相互理解: 外交 / 国家間の安全保障等にも寄与)

連携研究室

イズミール(トルコ/エーゲ大学)

成都(中国/四川大学)等

1) 学モン都市: 熊本

歴史を振り返る

そして、現在(この先)(大きな変化の時代)

2) 熊本大学の教育・研究

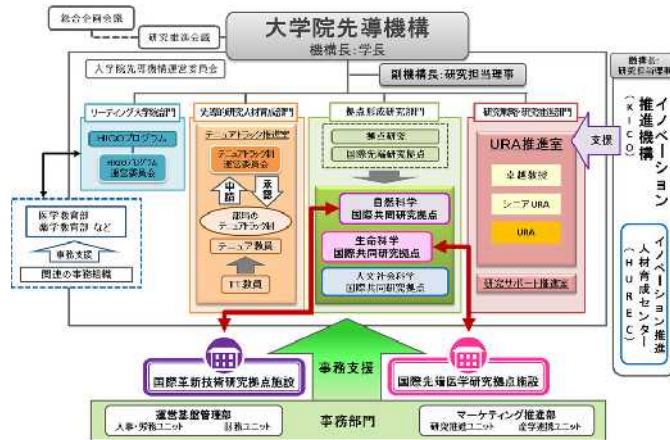
a) 国際社会で活躍できる人「財」の育成

b) 先端的な研究の例

3) 大学を取り巻く状況と本学の将来に向けて

文部科学省「研究大学強化促進事業」

研究拠点大学(支援対象機関)に採択(RU-22)



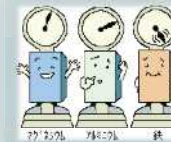
研究力の強化(世界で戦える Research Universityに)

=> 国際先端研究拠点の整備(国際先端医学研究拠点/国際革新技术研究拠点)

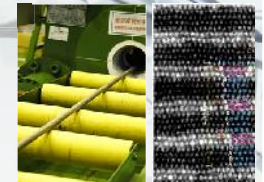
KUMADAIマグネシウム合金

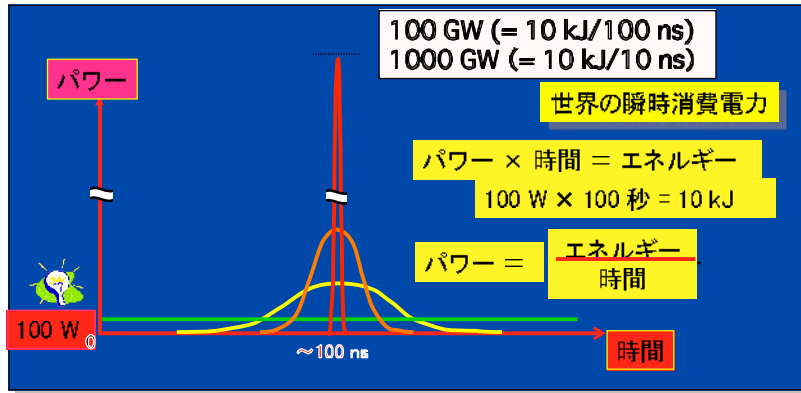
先進マグネシウム国際研究センターの設置(2011.12)

材料は世界を変えてきた



不燃マグネシウム:
 世界一の耐熱性
 マグネシウム材料も
 作製成功!



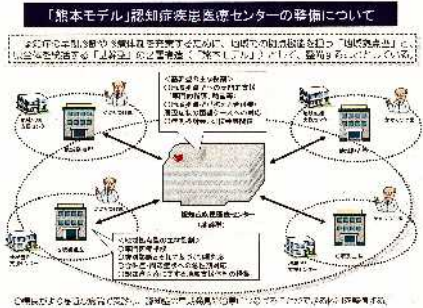


エネルギーは小さくても、時間的に圧縮すると巨大電力を発生可能。

→ パルスパワー技術

パルスパワー科学研究所の開設 (H25.4.1)

- ・地域医療拠点体制などの充実 (先端医療機器/コメディカルスタッフの充実)
- ・病院再開発事業 (病棟の整備に続いて 外来診療棟の整備)
- ・移植医療センターの構築
- ・診療科の整備と地域での機能分



永青文庫研究センター



織田信長朱印状

信長に仕え、丹後を平定(はい)りょう)した孫孝に向けて、天正9年(1581)9月4日に出した新加朱印状。同年に行われた戦地で得られた増分を明書光秀と相対し、把握するように命じている。「天下布武」の朱印には、信長の木下統一も目録す思いが込められている。



叢書の刊行
19世紀熊本藩
住民評価・褒章記録
「町在」解析目録の
WEB公開

<http://kijima.lib.kumamoto-u.ac.jp/>

薬学部関係を広報8月1日から11月20日まで開催



8月7日(水)、8日(木)に開催された
「子ども霞が関見学デー」



- 1) 学モン都市:熊本
歴史を振り返る
そして、現在 (この先) (大きな変化の時代)
- 2) 熊本大学の教育・研究
 - a) 国際社会で活躍できる人「財」の育成
 - b) 先端的な研究の例
- 3) 大学を取り巻く状況と本学の将来に向けて

大学を取り巻く状況: ミッション再定義と大学改革
大学の役割=> **社会の変革のエンジン**となる大学としての期待

ミッション再定義: 各国立大学の存在意義の明確化

- ・各部署の特長の明確化 => 強みの強化 **しかし、一方で、**
- ・大学としての特長の強化 => 全学的な視点からの強化が必要

- ==> 大学は、地域・社会の振興 (産業/文化/政策などにおいて
オピニオンリーダー、シンクタンク、コーディネーター などの役割)
- ==> 地域・我が国・国際社会の活性化を担い、地域を世界に繋ぐ役割
多くのリーダー人材を育成/大学自体が地域経済への大きな影響

熊本から世界へ: 世界と繋がることの大切さ

==>そして、世界を先導する

これらを責任を持って担うために

大学機能の益々の進化・強化が必要 (しかも、自律的に、多様に)
『入神致用』(勝 海舟)に学ぶ学術のススメ(社会のために)

22

地域の大学の役割

23

地域の中心としての機能

<地域(広域)の発展に責任を持つ存在>

地域における**シンクタンク機能**を果たすとともに、地域の**オピニオンリーダー**として、**世界的な視野の中で地域の発展を先導**する。

◆ 地域の産業、行政、文化等、**地域機能やその発展**を担う

コーディネート機能 / 地域の**オピニオンリーダー**

- ◆ 地域を支え、担う質の高い中核的な**人材育成機能**
- ◆ 行政施策や地域課題の解決に向けた助言・提言の機能(**シンクタンク機能**)
- ◆ 地域社会のイノベーション推進機能と**地域を世界に繋ぐ機能**

国や世界に対する拠点としての機能

<我が国の将来を支える存在>

多方面における有意で高度な人材を育成・供給。革新的科学技術等について、**グローバル社会への展開**を視野に入れた**高度な研究開発機能**を有す。

- ◆ 世界的な先端研究の推進と研究者育成 (**世界における我が国の存在感向上**)
- ◆ **世界の人材育成**への寄与 (留学生を介した国際社会での我が国の理解の深化に寄与/国際社会で活躍できる人材の育成: 国際貢献)
- ◆ 自然環境保全等への寄与 (**地球規模の課題の解決**への大きな貢献)

大学の支援者(ステークホルダー)との連携

24

連携: 国/教職員/学生/保護者との連携

他にも、高校生/社会人/留学生;小・中・高等学校;国内外の社会・大学
地域の産業界/企業;地域住民/NPOなど;県・市・町村 等との連携も必要

- 1) 同窓会との連携
東京/関西に連合同窓会(東京/関西オフィス)/九州連合同窓会
- 2) 高校との連携
理事・副学長に高大連携担当を明記
- 3) 地域社会との連携
都市戦略会議/高等教育コンソシアムの強化/地域医療の高度化 など
- 4) 保護者・市民の皆様との連携
 - i) 入学式における保護者の皆様との懇談会
 - ii) 附属学校を介した保護者の皆様との連携
 - iii) 大学の日常的な教育・研究活動/イベントを介した
保護者・市民の皆様との連携の強化 など

日常業務・生活で出会う機会のある支援者との連携

現在の本学のコミュニケーションワード(熊本大学のスピリッツ)

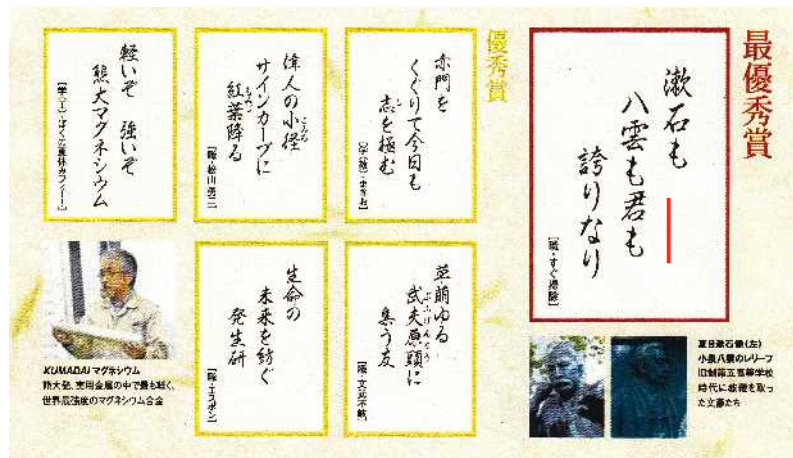


かつて本学に在籍された井上雄彦氏に揮毫いただきました
JR熊本駅新幹線ホーム/阿蘇くまもと空港/東京駅八重洲口 等に掲示

学生を元気にする!!部活動の振興
研究・教育力の強化!!大学機能の最大化

熊大歌留多読み札

大学の特徴の理解に役立つ



本学の将来ビジョン

生命系/自然系/人文社会系を有する地方総合大学として、
先鋭部分の強化と基礎のバランスのとれた

『総合研究拠点大学』

- ・ユニークな先端研究・教育で世界に存在感を示す大学
(世界の憧れの大学)
- ・社会と連携して社会の改革を牽引する大学

そのために:

本学の機能強化が不可欠: 強みを強化し、弱みを克服
(総合大学としての総合力を示す)

未来社会を創る大学の役割は極めて大きい

ご清聴ありがとうございました

在学生/卒業生/教職員/保護者・市民の皆様 にとって
憧れの大学へ

そして
「五高」の精神を受け継ぎ
人間力豊かで
地域社会と国際社会に貢献する
多様な人「財」を輩出し続けます

100年後も輝き世界に羽ばたく熊本大学へ